

「介護予防ケアマネジメント検討会議」の進捗状況について

1 これまでの経過

- ・厚生労働省が平成 28 年度から実施する「介護予防活動普及展開事業」において、全国 10 団体のモデル自治体に堺市を選定（大阪府内では他に羽曳野市、泉南市とともに選定）
- ・大阪府はモデル 3 市を主な対象として「介護予防市町村支援事業」を実施。堺市を含むモデル 3 市と協働で「介護予防活動普及啓発事業」の一環として介護予防マネジメント研修会等を開催

2 堺市における平成 28 年度の実績

○先行都市視察

平成 28 年 7 月 13 日 桑名市
平成 28 年 12 月 27 日 生駒市
平成 29 年 3 月 7 日 大分県

○介護予防ケアマネジメント研修会の開催

主 催：大阪府、堺市、羽曳野市、泉南市

対象者：介護予防活動普及展開事業モデル参加市（堺市、羽曳野市、泉南市）職員
及び 地域包括支援センター職員 等

日 程：①平成 28 年 9 月 21 日②平成 28 年 11 月 2 日③平成 28 年 11 月 8 日
④平成 29 年 1 月 23 日⑤平成 29 年 1 月 24 日

○介護予防ケアマネジメント検討会議のモデル会議の開催

大阪府との協働事業である「介護予防ケアマネジメント研修会」の成果を踏まえ、
「平成 28 年度介護予防ケアマネジメント検討会議（モデル実施）概要」（別紙 1）
のとおり開催

○平成 28 年度第 2 回堺市地域介護サービス運営協議会（2 月 22 日）にて平成 29 年度事業概要（案）を承認

○大阪府介護予防普及展開事業連絡会

日 時：平成 29 年 3 月 2 日

参加者：大阪府職員、モデル市職員、アドバイザー（PT・OT・ST）

内 容：各市町村の進捗状況、次年度予定、情報交換。

3 平成 29 年度以降の事業予定（案）

○ケアマネ・サービス事業者向け説明会（5 月）

○介護予防ケアマネジメント検討会議本格実施（7 月以降）

- ・所管課リハビリ専門職によるサービス事業者訪問
家庭訪問、サービス担当者会議への出席

平成28年度 介護予防ケアマネジメント検討会議（モデル実施） 概要

○ 開催日：2月2日（午後）、2月7日（午後）、2月9日（午後）、2月10日（午前・午後）

○ 実施ケース数：18ケース

○ 出席者及び役割

司会：市、基幹型包括支援センター

プランナー：地域包括支援センター

アドバイザー：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士

○ 検討会議（モデル会議）参加者の意見・感想

- ・専門職からの助言により、新たな気づき生まれ、プランナーの視点が広がった。
- ・助言をプランに反映しなくても、別の事例に役立てることができる。
- ・義歯、栄養の大切さが良く分かった。
- ・実際に入っているヘルパーさんやサービス提供事業所が参加できればよいと思う。
- ・地域支援の情報もあるとよい。
- ・抽象的な提案があった。具体的なアドバイスを受けたい。
- ・専門職が直接本人にアドバイスして欲しい。その方が本人が納得されるように思う。
- ・この手法が効果的な場合と、そうでない場合があると思う。
- ・介護保険での支援が妥当なのかといった視点が今後必要になると思う。

○ 課題

- ①リハビリ専門職が訪問を行い、ケースの環境設定や動作確認をしたうえでアドバイスすることが必要である。また、歯科衛生士や栄養士が個別に相談できるしくみが必要である。
- ②介護保険外で利用できる、地域のインフォーマルサービスの情報の集約と情報提供方法を検討する必要がある。
- ③ケースの状態に応じて、自宅でできる運動のパンフレット等の媒体が必要である。
- ④アセスメントの際に、口腔、栄養、服薬内容等の医療に関する情報が必要である。
- ⑤各々のアドバイザーの確保が必要である。
- ⑥会議で検討したケースに関する、その後の評価が必要である。

平成 29 年度 介護予防ケアマネジメント検討会議 概要 (案)

1 目的

介護保険の基本理念である「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資する」に立ち返り、多職種協働でケアマネジメントを検討することで、高齢者の QOL (生活の質) の向上とケアマネジメントのさらなる質の向上をめざす。

2 対象者

新規申請のうち、要支援認定を受けた方の中から抽出する。

3 開催回数

月 6 回、1 回あたり 5 件程度

参考) 堺市内 新規ケース 要支援 1 : 3,000 件/年 要支援 2 : 2,500 件/年

4 参加者

司会 : 市、基幹型包括支援センター

プランナー : 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

サービス事業所 : 訪問、通所サービス事業所

アドバイザー : 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士

5 提出資料

- ・利用者基本情報
- ・基本チェックリスト
- ・介護予防サービス・支援計画表 A 表、B 表、C 表、D 表
- ・課題整理総括表

6 会議のながれ

内 容	所要時間	備 考
プラン読み込み	5 分	
ケアマネジャーから概要説明	5 分	基本情報・プラン表・課題整理総括表をもとに説明
アドバイザーから質問	10 分	アドバイスするうえで必要な情報の聞き取り
アドバイザーからの提案	10 分	各専門職から、具体的な課題解決 に向けた提案
司会者によるまとめ	5 分	支援方針等の確認

また会議と併せ下記の取組みを行う

- サービス事業者訪問
- 家庭訪問
- サービス担当者会議への出席

※会議対象ケースのうち要望に応じ市の所管課リハビリ専門職員が対応する。